

心理学的支援 型にこだわるのか？ カスタマイズを重視するのか？

巷には多くの実証に基づく支援（EBI）プログラムがありますが、その厳格な実施にこだわると、こぼれおちてしまうものも多々あります。一方でカスタマイズしすぎるものの危険性もあります。そこで、ここでは厳格な実施のメリットやデメリット、何を重視すべきかのポイントを整理する目的で、先達の実践の知やEBIに重きをおく立場の山本と、ケースの固有性や個に応じた支援に重きをおく立場の岡田が、地域実践者でもある本阿彌の指定討論も交えて、思春期の発達面に困難のある子どもへの支援アプローチであるPEERS®を例に、議論（激論？）を交わします！

日 時：2025年11月8日（土） 14時00分～16時30分、参加費は無料

場 所：北海道大学文系共同講義棟5番教室 & zoom オンライン

話題提供：山本 彩（札幌学院大学・教授）、岡田 智（当センター子ども臨床研究部門・准教授）

指定討論：本阿彌はるな（札幌はな発達デイサービス）

参 加 者：対人支援職の方、対人援助等について学んでいる大学生・大学院生

申込方法：Eメールで、件名「公開講座申込（お名前）」、本文に①「お名前」②「所属・職業」③「連絡がつくメールアドレス」④「参加方法（対面orZoom オンライン）」をご記載いただき、下記までお申し込みください。

kodomo-manabi@edu.hokudai.ac.jp 子ども臨床部門 公開講座受付担当まで。

